

● 新中学校建設特別委員会

市長選挙を控えた9月定例会で継続審査となっていた勝山市立中学校建設工事（地下横断歩道建設工事）請負契約の締結については、12月11日の本会議で可決されました。

12月17日の委員会では、まず、新中学校の入札不調について報告がありました。

次回の入札に向けて、報告内容には限りがあり、次回の入札の結果を受けて、再度協議を行うこととなりました。

委員会では、長く使う施設であるため、積算の見直し等が品質の低下につながらないように、要望がありました。

また、各種協議会や委員会等の開催状況、実際に新中学校に通うことになる子ども達の交流会、保護者への説明会について報告がありました。

今後も勝山市の将来を担う子ども達一人ひとりが、いきいきと活動できる、安全安心な学校が建設できるよう、今後とも議論を重ねてまいります。

勝山市立中学校再編進捗情報

各委員会等の開催や保護者説明会の開催状況など、勝山市立中学校再編進捗情報は勝山市HPよりご覧いただけます。



勝山市HP

● 10月臨時会

10月25日の臨時会では、勝山市一般会計補正予算に関する専決処分の承認と、財産の処分について審議され、承認、可決されました。

財産の処分は、令和6年3月末に閉園になった平泉寺保育園、野向保育園の両園です。これらの施設は今後も市で利用する見込みがなく、民間事業者に有効活用していただき、市の財政負担の軽減と地域の活性化を図る予定です。

なお、民間に移行された施設は、それぞれカフェ・民泊等及び社会福祉事業に活用される予定です。

一般質問 議：議員／理：理事者

- 教育会館等の中性化試験について
- 児童センターについて

その他の質問

- ・ ジオパークについて
- ・ 雪害対策について



吉田将克 議員



議 建造物のコンクリートを調査する中性化試験は築年数等で行う等の基準があるのか。また、市が管理している教育会館等の公共施設について中性化試験は今後行う予定はあるのか。

理 市では中性化試験の実施基準を設けていない。しかし昨年度、市役所周辺施設の集約化を議論する中で、老朽化した施設の使用に関して多くの懸念が寄せられたことを受け、本庁舎の中性化試験と圧縮強度試験を実施した。結果、今すぐに建替え検討しないといけない段階にはないことを確認した。市民会館や教育会館についても圧縮強度試験を行っており、耐震補強工事が済んでいることや本庁舎より新しい施設であることから、現時点では中性化の問題はないと考えているが、教育会館は多世代が利用できる施設への改修を計画しており、利用者の安全・安心を担保するためにも、来年度以降の設計業務や改修工事に併せて中性化試験の実施を検討したいと考えている。

議 放課後児童支援員は児童おおむね40人毎に2人以上（内1人補助員可）とされているが、各児童センターにおいて、放課後児童支援員及び補助員は何人在籍し、夏休み等の長期休暇は何人増員して対応しているのか。

理 令和6年度、市内9か所の児童センターには666人が登録しており、放課後児童支援員及び補助員は計33人在籍している。各センターには2～6人の職員が勤務し、有資格者は2人ずつ配置されている。また荒土など4施設にはシルバー人材センターからの派遣を1人ずつ配置している。長期休暇には同人材センターからの派遣を6施設に1人ずつ配置し、村岡など3施設には派遣と会計年度任用職員を各2人増員して対応を行っている。